

Pension (3)



国際関係学科
田形朱夏

Q15 民主党の年金改革で 年金制度は安心できる制度になるのか?

★民主党 年金改革案概要

- ①厚生年金・共済年金・国民年金を1つの年金制度に統一
- ②最低保障制度⇒月額最低7万円
- ③所得比例年金
- ④移行期間の制定

退職後の一人当たりの年金は...

所得比例年金 + 最低保障年金

ただし、最低保障年金は、所得が増加するにつれ、減少

年金〈上級編〉 Q13.14



神戸市外国語大学
中嶋ゼミ

国際関係学科 三年生

E10069 塩出佳余

Q13

現在の年金制度は自動安定化装置があるので、今後、年金改革は本当に不要なの
でしょうか？



Q14

赤字化している年金財政を建て直すための
改革は、いつ行われるのでしょうか？

100年安心プランの崩壊



2004年「100年安心プラン」

スウェーデンの年金改革をモデル

改革内容①保険料水準固定方式

②マクロ経済スライドの導入と
所得代替率下限(50%)の設定

③基礎年金の国庫負担率
1/3から1/2への引上げ

④有限均衡方式の導入

100年安心プランの崩壊(2)



① 保険料水準固定方式

年金の保険料を一定の金額まで上げた後固定

③ 国庫負担率の引上げ

保険料を減らす分を国庫負担で補う

④ 有限均衡方式

積立金を取り崩して現在の収入を補う

→①で十分な保険料を得られないので③④で補充
国民の負担という点ではかわらず、将来世代に
対してますます大きな負担を強いる

100年安心プランの崩壊(3)

マクロ経済スライド = 自動安定化装置



導入前

年金額に賃金上昇率や物価上昇率をかけて
毎年の経済情勢に合わせた金額を設定する

導入後

年金額に賃金上昇率や物価上昇率を1%程引いて掛ける
ただし伸び率をマイナスにしてはいけない

→導入前より年金額を抑制/現状維持

「マクロ経済スライドは少子高齢化の進展を
自動的に調整する自動安定化装置」→疑問

【図表1】賃金スライドと物価スライドの数値例

(万円)

	Aさん (1945年生まれ)	Bさん (1946年生まれ)	Cさん (1947年生まれ)
2010年	20.00		
	↓ × 1.01		
2011年	20.20	20.50	
	↓ × 1.01	↓ × 1.01	
2012年	20.40	20.71	21.01
	↓ × 1.01	↓ × 1.01	↓ × 1.01
⋮	⋮	⋮	⋮

Red arrows and labels in the original image indicate the following values: $20.00 \times 1.025 = 20.50$ and $20.50 \times 1.025 = 21.01$.

【図表2】マクロ経済スライドの数値例

(万円)

	Aさん (1945年生まれ)	Bさん (1946年生まれ)	Cさん (1947年生まれ)
2010年	20.00		
	↓ × (1.01 - 0.009)		
2011年	20.02	20.32	
	↓ × (1.01 - 0.009)	↓ × (1.01 - 0.009)	
2012年	20.04	20.34	20.65
	↓ × (1.01 - 0.009)	↓ × (1.01 - 0.009)	↓ × (1.01 - 0.009)
⋮	⋮	⋮	⋮

Red arrows and labels in the original image indicate the following values: $20.00 \times (1.025 - 0.009) = 20.32$ and $20.32 \times (1.025 - 0.009) = 20.65$.

2011.12.13

DIAMOND ONLINE

西沢和彦 [日本総合研究所調査部主任研究員]

<http://diamond.jp/articles/-/15308?page=3>

100年安心プランの崩壊(4) 機能しない自動安定化装置

☞ マクロ経済スライド

自動安定化装置ではなく単純な給付カット策

自動安定化装置が機能しない理由

- ・ 給付カットの下限が設定されているため
年金財政が赤字になっても調整できない
→積立金が今後50年で枯渇
- ・ 1%という数字は少子化に対応していない

今すぐに改革が必要！

本当は年金給付抑制のための大芝居 抜かすの宝刀「マクロ経済スライド」の功罪 (DIAMOND ONLINE より抜粋)



(1) マクロ経済スライドは、速やかな年金額カットを政府が表明した場合などに起こり得る国民の心理的抵抗や社会的混乱を回避しつつ、かつ、政治家の力量に制約があるもとで、給付抑制を図る仕組みとして編み出されたものである

(2) マクロ経済スライドは、前年度の名目年金額を下回らないという縛りがかけられているため、いまだ全く機能していない。しかも、始まったとしても、いつ終わるかが見えない。それに伴う財政的なツケは将来の世代に先送りされている。加えて、スライド調整率は、世代間の公平を考えれば、足もとほど大きな値で然るべきであるが、実際には、将来ほど大きな値になっている。

(3) 「社会保障・税一体改革成案」において、マクロ経済スライド見直しが掲げられていること自体高く評価されるが、論点がデフレのもとでいかに機能させるかに限られている。もう一段踏み込んだ議論が必要である。

西沢和彦 [日本総合研究所調査部主任研究員]

2011.12.13

DIAMOND ONLINE <http://diamond.jp/articles/-/15308?page=8>

デフレ下のマクロ経済スライド実施に理解を (大和総研コラムより抜粋)



法改正によりデフレ下でもマクロ経済スライドを実施可能とする必要がある

デフレであっても現役世代の人口の減少や平均余命の伸びは止まらない。その分の給付の抑制ができないならば、年金財政は悪化し、現役世代にツケが回る（保険料や税の負担増や、現役世代が将来年金を受給する際の実給額の減少となる）。現状でさえ「孫は祖父より1億円損をする」とまで言われる世代間格差をさらに拡大させることは、あってはならない。

デフレ下においてマクロ経済スライドを実施した場合、年金受給者にとっては年金の名目額が目に見えて減っていくという、実感としての「痛み」を被る。だが、現役世代は既にデフレによる名目の給料減少という「痛み」を被っている。デフレの痛みについて、現役世代だけでなく年金受給者も分かち合うことは、制度の公平性の観点からも望ましく、年金受給者にも理解してもらえないのではないだろうか。

政府・与党には、ぜひともデフレ下でもマクロ経済スライドを実施できるように法改正を求めたい。

大和総研ホールディングス

2011.07.26

<http://www.dir.co.jp/publicity/column/110726.html>

年金財政を建て直す



改革が遅れれば遅れるほど将来世代の損失額が増加

たとえばマクロ経済スライドを追加実施しても

1955-1990生まれの世代か1990-生まれの世代のどちらかが損をするが1940-1950年生まれは追加損失を被らない

政権が代わっても「100年安心プラン」の仕組みが
全て変わるわけではない

年金改革が先送りになる可能性

賦課方式から積立方式への移行

積立金の運用方法

賦課方式から積立方式へ

- ・ 厚生年金だけでも 5 4 0 兆円もの債務
 - 積立金不足
 - 現実的では無い (無意味)
 - そんなことはない！

理由

1. 現段階はまだ本格的な少子高齢化の入り口
2. 債務による積立金不足を一括で用意する訳ではない

賦課方式から積立方式へ②

- ・ 移行期間における年金の2階部分の支払い資金の調達方法
 1. 現役世代からの「税」
 2. 年金受給世代からの「税」
 3. 1, 2 プラス赤字国債
- ・ 赤字国債は1, 2の課税によって各世代が少しずつ負担することで解消
- ・ その間の赤字国債は積みあがっていく積立金で調達、運用。

積立方式への誤解

- 保険機能を持たない
→ 世代勘定の積立方式であること
- インフレに弱い
→ 金利の自由化以降は、インフレになった分金利が上昇する（フィッシャー効果）

積立金の運用

- 年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF)
が運用
→厚生労働省の赤字を打ち消すための粉飾決算
によって設定された高い利回りを確保するた
めに非常にハイリスク・ハイリターンな運用を
する可能性が高い。

鈴木さん「運用方法は積立金の持ち主である国民
が決定すべき！」

積立金の運用②

- 安全運用派
そもそも年金は老後の生活を支える生活費だ！
安全性の高い国債で運用すべき
- ハイリスク・ハイリターン派
少子高齢化等で経済成長率が下がり金利が著しく低下する！
国債が安全資産であるとは限らない